

SSH特別講義（2回・3回）・第2回フリートーキング

令和2年8月28日

（SSH第2回特別講義）

ご紹介が遅くなってしまいましたが、去る6月15日、第2回のSSH特別講義を実施しました。講師に、シスメックス株式会社R&D推進部R&D支援課の中川謙一先生をお迎えして、総合理学科2年対象に「研究の進め方 研究のデザイン」という演題で講義をしていただきました。「研究」は「冒険旅行」であり「信頼できる方法に則って人類の知識を増やす活動」であるという話から始まり、「全部ごまかさず真正面から柔軟に取り組もう」という結びまで、研究にどう取り組むかを分かり易く話してくださいました。ありがとうございました。

（SSH第3回特別講義）

本日放課後には、第3回のSSH特別講義「金属資源講話」を実施しました。講師にはJOGMEC（独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構）特命参与の辻本崇史先生をお迎えしました。今回は普通科・総合理学科を問わず希望者を対象としたもので、教職員も含め約40名が参加しました。

辻本先生から、資源とはその国の国民生活や経済の原動力となるものであり、とりわけ金属資源は産業や日々の生活に直結するものだ、と説明がありました。続いて、金属について、これまでの資源開発の歴史と現状、海底資源への挑戦、資源開発の課題などを具体的に教えていただきました。質疑の後には、お持ちくださった鉱物標本を見せていただきました。参加者は、手袋を着けて手に取って重さを感じながら間近で観察をさせていただきました。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。



講義の様子



鉱物標本を間近に



いただいたマンガン団塊

（フリートーキング）

同じく本日の放課後、体育大会に向けての第2回フリートーキングが行われました。生徒と職員それぞれ約25人、合計約50人での会議となりました。

前回での意見を踏まえて作成された「第73回体育大会第二次原案」について、説明と質疑が行われました。前回から3週間、本当によく考えられた原案を作成してくれました。

それでも、3密対策は十分か、本当に原案で運営できるのか、という視点で、さらに検討すべき意見が出されました。まだまだ考えるべきことはありますが、何とか安全・安心、楽しくカー杯の体育大会を目指して、学校あげて、しっかり取り組んで行きましょう。